

「せわしい」のに「せわしない」?

「掃除さうじしなくちゃ、買い物にも行かなくちゃ、ああ、せわしい」

「なんだか、せわしないね。落ち着きなよ」

えっ、「せわしい」のに「せわしない」って、どういうこと?

「ない」は、「寒い／寒くない」「広い／広くない」のように、上の言葉の意味を打ち消すときに使われます。でも、「せわしない」は「せわしい」を打ち消しているわけではありません。この「ない」は、**意味を強める働き**をしているのです。

「せわしい」は「忙しい」と似ていますが、用事がたくさんあるだけでなく、心にゆとりがないときは、「せわしい」と言った方がぴったりきます。その「せわしい」程度をもっと強調すると「せわしない」となるでしょう。「せわしい」を打ち消すのなら、「せわしくない」です。

「いとけない」「幼わかい」「はしたない」(行儀ぎょうぎが悪くて、見苦しい)などの「ない」も同じ強調の「ない」です。



ないのではない、強調する「ない」

打ち消しの「ない」か強調の「ない」かは、「ない」を「ぬ」に置き換えてみれば分かります。打ち消しの「ない」は、「落ち着かない」↓「落ち着かぬ」のように、「ぬ」に置き換えられます。一方、「せわしない」を「せわしぬ」とは言えませんね。

「せわしい」の語源ははっきりしませんが、「狭せまい」と関係があるという説があります。空間的に窮屈なのが「狭い」、時間的に窮屈なのが「せわしい」というところでしょいか。カレンダーに所狭せましとばかりに予定を書き込んだりすると、「せわしさ」が実感されます。「せわしい」に強調の接尾語「ない」を付けた「せわしない」。ただ、「せわしい」よりも程度が甚しだしいというだけでなく、人から見ても、いかにもせわしい感じがする、といったときに、「せわしない」が使われることが多いようです。

「いとけない」の「いとけ」には「幼わかい」の意味があります。「いとけない」は「幼わかい」程度を強調した言い方です。「はしたない」の「はした」は「半端はんぱ(数が足りなし)」のことで、もともとは、不足の程度が甚しだしいという意味でした。そこから転じて、中途半端で収まりが悪い、身の置き所がなくて恥ずかしい、さらに、行儀が悪くて見苦しい様子を表す現在の使い方になったようです。

